

n を自然数とする.

1. 実数 x に対して, $\sum_{k=0}^n (-1)^k x^{2k} - \frac{1}{1+x^2}$ を求めよ.
2. 不等式 $\left| \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{2k+1} - \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx \right| \leq \frac{1}{2n+3}$ が成り立つことを示せ.
3. 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{2k+1}$ を求めよ.

[解]

(1) $x \in \mathbb{R}$ だから $-x^2 \neq 1$ なので, 第一項は公比 $-x^2$ の等比数列の和である.

$$\begin{aligned} (\text{与式}) &= \frac{1 - (-x^2)^{n+1}}{1 - (-x^2)} - \frac{1}{1+x^2} \\ &= \frac{-(-x^2)^{n+1}}{1+x^2} \end{aligned}$$

となり題意は示された.

(2) (1) の両辺を $[0, 1]$ で積分して絶対値をとると

$$\left| \int_0^1 \sum_{k=0}^n (-x^2)^k dx - \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx \right| = \left| \int_0^1 \frac{x^{2n+2}}{1+x^2} dx \right| \quad (1)$$

である. 以下各項を評価する. まず左辺第一項は先に積分を処理することで

$$\begin{aligned} \int_0^1 \sum_{k=0}^n (-x^2)^k dx &= \sum_{k=0}^n \left[\frac{(-1)^k x^{2k+1}}{2k+1} \right]_0^1 \\ &= \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{2k+1} \end{aligned} \quad (2)$$

であり, 右辺は積分区間内で $0 \leq x \leq 1$ より $1+x^2 \geq 1$ だから

$$\begin{aligned} \int_0^1 \frac{x^{2n+2}}{1+x^2} dx &\leq \int_0^1 x^{2n+2} dx \\ &= \frac{1}{2n+3} \end{aligned} \quad (3)$$

となる. eqs. (2) and (3) を eq. (1) に代入して

$$\left| \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{2k+1} - \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx \right| \leq \frac{1}{2n+3} \quad (4)$$

となり, 題意は示された.

(3) (2) で示した eq. (4) の右辺は $n \rightarrow \infty$ で 0 に収束するから, 挟み撃ちの定理より

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{2k+1} = \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx \quad (5)$$

である. 右辺の積分は $x = \tan \theta$ と置換すると

$$\begin{aligned} \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx &= \int_0^{\pi/4} \frac{1}{1+\tan^2 \theta} \frac{dx}{d\theta} d\theta \\ &= \int_0^{\pi/4} \cos^2 \theta \frac{1}{\cos^2 \theta} d\theta \\ &= \int_0^{\pi/4} d\theta \\ &= \frac{\pi}{4} \end{aligned}$$

だから, eq. (5) に代入して

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{2k+1} = \frac{\pi}{4}$$

である. ... (答)

[解説] 有名な無限級数の一つである, ライプニッツの公式を証明する問題. 式をあらわにかくと, これは交代級数になっている

$$1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \cdots = \frac{\pi}{4}$$